

# 文化振興計画 事業評価シート

事業名		文化講演会・文化講座等を実施します (書道文化講座・列品解説講座)		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (2)ー④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成12年	実施回数	5回(平成27年度)	
日時	6月6日、7月5日、8月4日、10月24日、3月6日、各回午後2時から			会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	杉岡華邨の書芸術だけでなく企画展覧会出席者等の作品や制作論の講演、さらには書のみならず広く芸術文化に関わる講演や実技を指導する講座等を開催することで、書道愛好家の方に書道文化をより深く理解して頂くと共に、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持っていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。					
内容	講師を招き、杉岡華邨作品についてお話をいただく列品解説講座と、企画展覧会に関連する内容や、広く書文化やその他芸術文化についてお話をいただく書道文化講座を年5～7回程度開催する。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	340,000	支出	340,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	399,438	支出	399,438
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	参加者総数841名、参加率達成度210%		
	参加者満足度		10	毎回予定人数を大幅に上回る参加者に来場いただき、満足度の高い講座を提供できていると考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		無			
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	講師はその分野の専門家の方に依頼している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	参加者は書に関心の高い方々に絞られている。		
総合評価(自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			一般の市民だけでなく全国各地の書家や愛好家と言った方々からも受講希望が集まり、毎回定員を上回る多くの方々に受講いただき、好評をいただいている。特に普段は作品でしか見る事のない作家の自身の制作論などはなかなか聞けない貴重な話のため特に人気がある。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	開催している展覧会の内容などに合わせて講座のテーマを設定している。平成27年は書道文化講座が中心となり列品解説講座は開催出来なかったが、開館15周年の記念講座で初の書家4名による座談会など新たな取り組みを行っている。			展覧会内容に即して開催する場合が多く、また専門家の講師による専門性の高い内容となっているが、書道以外の芸術文化全般をテーマとした講座の企画や、初心者向けの作品解説会(学芸員による解説)なども活用し、より一層の書文化と市民文化の振興に努めたい。		

# 文化振興計画 事業評価シート

事業名		文化講演会・文化講座等を実施します (書道実技講座)		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－④ (2)－④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成25年	実施回数	1回(平成27年)
日時	11月28日午後1時～・午後3時～			会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	書の初心者でも簡単に参加できる形式で、年賀状など生活で活かせる書の実技を体験できる講座を通して、市民に生涯学習の一環として自己を磨く機会を持ていただき書道文化及び市民文化振興に貢献することを目的とする。					
内容	講師を招き、初心者でも参加できる年賀状の書き方についての実技指導の講座。基本的な年賀状の書き方についての説明のあと実際に受講者が書いたものを個別に指導していただく。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	20,000	支出	20,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	15,000	支出	15,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	参加者数15名、参加率達成度75%		
	参加者満足度		10	毎年参加しておられる方もあり、満足頂いていると考えている。		
	市民参画・協働の成果はあったか			無		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	講師は毎年書の専門の先生に依頼している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	おおむね市内在住の書に興味関心の有る方に絞られている。		
総合評価(自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			時期に即した実用的な内容で、少人数によるきめ細かい個人的な指導を受けられたと好評であった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	平成27年度は3年間講師を務めて頂いた方から新たな先生に変わり内容も変化した。なお、施設の会場が非常に狭く、また詳細な指導を行うために受講者数が少ないため、直前の欠席等で参加率が大幅に低下する。			施設と講師の先生による指導が出来る規模などから現在の定員等が妥当だと思われるが、1時間30分での入れ替えの2部制を、入替えなしの1部にし、時間を長くするなど講師の先生や受講者の感想や希望を考慮しつつ検討したい。		

## 文化振興計画 事業評価シート

事業名		家族で参加する展覧会を開催します (夏休みクイズ)		担当課 施設名	( 奈良市杉岡華邨書道美術館 )	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (6)ー①	
	基本施策	2-05	文化振興		(2)ー② (8)ー①	
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続		事業開始年	平成17年	実施回数	1
日時	平成27年7月18日(土)～8月30日(日)			会場	奈良市杉岡華邨書道美術館	
目的	夏休み期間中の児童・生徒の芸術・文化学習の機会を広げ、併せて保護者が書芸術に触れるきっかけをすることにより、書道文化振興の一助とする。					
内容	高校生以下を対象として開催中の展覧会や書芸術、漢字の成り立ちなどのクイズを出題。正解者には参加賞として杉岡華邨作品の絵葉書を進呈する。なお問題は展示作品をじっくり見ると分かる内容のものを中心として、作品を見ることやその違いを比較することによって書芸術への関心を高めるような問題とする。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	15,000	支出	15,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	10,000	支出	10,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	80名		
	参加者満足度		10	ゲーム感覚で楽しく参加する子供もいる一方で、全く興味のない子供もいるが、おおむね楽しみながら一定の満足を感じていると考えている。		
	市民参画・協働の成果はあったか			無		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	出題については学芸員が展覧会に合わせ作成している。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	参加資格を高校生以下に絞り、出題も小学生用、中学・高校生用を作成して、ターゲットを絞った内容となっている。		
総合評価(自動計算)			10			
参加者や協働相手からの意見			普段、書芸術に関心のない子供たちが積極的に書に興味を持つ機会となり、一緒に答えを探すことでコミュニケーションをとることが出来たと保護者の方からも好評をいただいた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	例年は夏休みクイズに参加する子供を引率する親も観覧無料であったが、平成27年度より有料となったため参加者数が大幅に減少している。			参加者の満足度は比較的高いが、対象が生徒、児童のため引率する保護者が有料となったことが参加者数に大きく影響している。保護者の参加を促すような方法を検討しつつ、子供たちへの書道文化普及の一助となるように努めたい。		